

青陵中生のみなさん、進級・入学おめでとうございます



司書の青木です。青陵中に勤めて今年で5年目となりました。みなさんと本の出会いをサポートし、知識の世界への橋渡しをさせていただきます。

私の趣味はお笑いライブに行ったり、芸人のラジオを聴くこと(かなりのお笑いオタク)、そして本を読むことです。この仕事についてから読書熱はますます加速し、小説だけでも年間200冊以上読んでいます。いつも「おもしろい本、素敵な本」へのアンテナをたてて情報収集しています。

図書館は利用者とともに作り上げていくものです。ぜひ、青陵中生のみなさんの「おすすめ本」情報も司書に教えてください。

図書館 利用ルール

開館日 : 月~金

開館時間: 10:00~16:00

貸出冊数: 5冊

貸出期間: 2週間

開館時間の変更や臨時休館もあります。
図書館入口・ロイロノート資料箱にある
図書館カレンダーを確認してください。

返却期限を守りましょう。
貸出期間内に読みきれなくても、
他の人の予約がなければ
何度でも借り直すことができます。
いったん返却しに来てください。

蔵書検索



青陵中学校図書館
の本を探す

- ・学校HPの学校図書館ページやロイロノート資料箱でも蔵書検索できます。
- ・その本が貸出中なのか在庫しているかはわかりません。

ロイロノート資料箱

資料箱 > 学内共有 > 図書館

図書館情報やおすすめ本、
図書委員会からの情報発信、
調べ学習支援コンテンツなど。
ぜひ、のぞいてみてください！

図書館からの お願い

- ・本を汚してしまった、破いてしまった、失くしてしまったら…
すぐに司書に相談しに来てください。が
- ・汚れていたり、破けている本を発見したら…
司書に教えてください。ひどくなる前に修理します。

2023 年度青陵ベストリーダー大賞発表！



大賞『モンスターハンター』シリーズ

アクションゲームのノベライズ作品。このシリーズには世界観を共有する複数のストーリーがある。ただの賞金稼ぎから真のハンターへと成長していくジグ、名ハンターだった亡き父の背中を追うキオ、ハンター一族として生まれたソニア。主人公たちが仲間と出会い、「狩り」を通して成長していく。ファンタジー小説が好きな人にもおすすめです。

昨年度、青陵中生に最も多く借りられた本を発表！

- 4 位『夏へのトンネル、さよならの出口』
- 5 位『かがみの孤城』
- 6 位『死神の精度』
- 7 位『この素晴らしい世界に祝福を!』シリーズ
- 8 位『5 秒後に意外な結末』シリーズ
- 9 位『54 字の物語』シリーズ



2 位『変な絵』

スケッチや間取り図を駆使した戦慄のスケッチ・ミステリ。『変な家』とともに雨穴作品にはまる人が続出。すべてのピースがパチッとハマるラストは圧巻。「七篠レンのブログ」は Web 上で実際に読むことができる。



3 位『#真相をお話します』

この違和感の正体は…？マッチングアプリやオンライン飲み会、Youtuber など、現代の世相をうまく使った短編集。ラストにとんでもないどんでん返し！

こちら注目！

2024 年 本屋大賞決定！

本屋大賞は、書店員（＝本読みのプロ）が熱くおススメする「本当におもしろい本」です。大賞以外のノミネート作もどれもおもしろい！ぜひ、手に取ってみてください。過去の本屋大賞をまとめたブックレットを配布です。

『成瀬は天下を取りに行く』

宮島未奈 / 著 新潮社刊



主人公・成瀬あかりの目標へと突き進む実行力に周囲の人々も読者も巻き込まれ、最高の爽快感を体験できる作品。地元・西武大津店に毎日通ってテレビ中継に映る、親友・島崎と漫才コンビを組んでM-1に出場、3年間にどれだけ髪が伸びるかを知るために高校の入学式に坊主頭で現れる…変人と思われても潔いほどマイペースに生きている成瀬だが、実は自らを省みることもあり…読めば成瀬ファンになること間違いなし。続編『成瀬は信じた道を行く』を注文中！

注文中（予約可）

4 位 『スピノザの診察室』 夏川華介 / 著 水鏡社刊

家庭の事情で地域病院の内科医として働くことを選んだ、すご腕医師のマチ先生。命の最期に向き合い、寄り添う医療を必要としている人たちがいる。



6 位 『黄色い家』 川上未映子 / 著 中央公論新社刊

事情を抱えた少女たちが集まる黄色い家。そのうち彼女たちはお金欲しさに犯罪に手を染めていくことに…持たざる者は負の連鎖から抜け出せないのか？



7 位 『リカバリー・カバヒコ』 青山美智子 / 著 光文社刊

カバの遊具カバヒコをなでると、悩んでいる部分が回復する…そんな都市伝説に導かれ、切実な悩みを持つ人々が公園にやってくる。描かれる“悩み”の解像度がすごい。じんわりしみる物語。



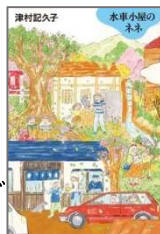
8 位 『星を編む』 風泉ゆう / 著 講談社刊

昨年の本屋大賞『汝、星のごとく』の続編。せつない終わり方だった前作、その先にあるのは、こんなにもやさしい世界だった。未来へとつながる愛の物語。



2 位 『水車小屋のネネ』 津村記久子 / 著 毎日新聞出版刊

8歳の妹とともに毒親から逃れてきた18歳の姉は、とある町のそば屋で働き始める。求人内容は「賄いと住居補助つき、鳥の世話じゃっかん」。しゃべる鳥ネネと姉妹をとりまく人々を10年ごとにまとめた話が連なる。支えられた人がやがて支える側に回り、時は流れていく。「誰かに親切にしなきゃ、人生は長く退屈なものですよ」欠落のある人生でも誰かの力になることはできる。そんな温かい心の循環する物語。



5 位 『レーエンデ国物語』 多崎礼 / 著 講談社刊

聖イジョルデ帝国内の駆け引きから逃れ、領主の娘ユリアがやってきたのは銀霧の漂う呪われた地レーエンデ。じつは彼女こそがレーエンデの秘密を覚醒させる人物であった。全5巻刊行予定2巻所蔵、3,4巻注文中。ファンタジー好きはぜひ手に取って！



所蔵あり

書影はすべて出版社の使用許諾済